

## 令和2年度第2回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日 時】 令和3年2月1日（月）

午後3時30分～午後4時30分

【場 所】 永山公民館5階 ベルブホール

【出 席】 11名（欠席3名）

【傍聴人】 なし

事務局より、配布資料の確認が行われた。

会議に先立ち、教育長から多摩市立学校給食センター運営委員会に対して、令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）について諮問を受けたため、学校給食センター長から会長へ諮問書を渡し審議をお願いした。

### 議題

#### (1) 令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）について

事務局から資料1「令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）」、資料2「令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）に係る参考資料」に基づいて説明があった。

#### <質疑応答>

【会 長】 特に質問等ないので、挙手による採決を行う。賛成の方は挙手をお願いします。令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）を、原案のとおり答申することに賛成する方は挙手願う。

【委 員】 《挙手全員》

【会 長】 本運営委員会は令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書（案）を原案のとおり承認することを答申することとする。

### 議題

#### (2) その他

【事務局】 審議案件はないが、当運営委員会は令和元年度、2年度と二か年の任期でお願いをしてきたが、本日が最後となるため、今期の運営委員をされてのご意見、ご感想を述べていただきたい。

【委 員】 給食を作るために頑張っていた姿が数字からもあらためて見て取れた。あまり目にしないような資料から説明いただけると理解が深まったのではないかと感じた。今年は新型コロナウイルス感染症の対応として、給食の時間も安全を確保しなければならず、前を向いたまま食べ、食べ終わってもチャイムが鳴るまで静かに待っている、

そのような制約がある。そうした中で、給食がおいしいとかきれいとか思えると子どもたちにも励みになる。新型コロナウイルス感染症に関係なく、給食を提供するにあたってどのようなところに苦労されているか率直なご意見を伺いたい。

【事務局】 新型コロナウイルス感染症に関係するが、今年度は簡易給食から始まったので、どのような献立がよいのか、栄養士も苦労して考えてくれた。また調理員もパンを包んで提供するなど普段にはない対応をしてもらった。また給食費の徴収の仕方や価格が違ったので、学校支援課も苦労していた。給食費が厳しいことを頭に入れながら献立をいつも考えている。今年度は、例年以上に難しかった。

【委員】 今年度から牛乳がパックからビンになったが、子どもたちにはおいしいと評判が良かった。また新型コロナウイルス感染症の影響で例年とは違う対応が多かったと思うが、その中で給食センターがフードバンクを通じてキャンセルできなかった食材を寄付していることなど知ることができてよかった。

【委員】 大学の食堂は全て閉鎖されたが、学校給食は現場の方々のご苦労により提供されていることを運営委員会を通じてひしひしと感じた。フードバンクへの寄付もとても良い取り組みだと思う。多摩市は牛乳がパックからビンになったが、大学のある地域ではその逆であった。自治体によって考え方が違うようだ。  
予算書について質問がある。資料2の2ページ(2)学校給食費過年度分の徴収見込率について。平成30年度(過年度3年目)に比べ令和2年度(過年度1年目)は徴収見込率が良くなったということか。

【事務局】 令和2年度の徴収率自体は若干上がっているが、ここに示されている数値は過去3年間の収入率の平均となっている。なお、過年度の未徴収分についても電話等で支払ってもらえるよう催促をしている。

【委員】 未払いの人が減ったということではないということか。新型コロナウイルス感染症の影響で御父兄も大変。そんな中で、徴収率が上がるのは逆行しているのではと思い質問した。

【事務局】 今は正確な人数は把握していないが、未払いの人は若干増えている。しかし、そのまま未払いでは不公平になるので、できる限り色々な手段を使って支払っていただく努力をしている。

【委員】 学校現場では、市からの適切な指示と給食センターの方々の配慮、例えばパンを袋に入れたり手袋を支給してくれたりなどいろいろと助けていただき、保護者のご理解を得ながら安全に気を付けて給食を提供することができ感謝している。給食の時間は唯一マスクを外せる時間で、子どもたちのかわいい顔が見られる時間。おいしそうに笑顔で給食を食べていることをお伝えしたい。

【委員】 学校休校が明け、簡易給食を大変苦労していただいた中で提供いただき、子どもたち

は大変喜んでいました。夏に実施した三者面談の際には保護者から給食が本当にありがたいものだと思われ、これまでに給食提供に感謝しているという声をたくさん聞いた。今は前を向いて食べているが給食センターからも細かなご支援をいただき、毎日おいしく給食をいただいている。

【委員】 簡易給食は親としても本当にありがたかった。学校に行くモチベーションも給食によって上がっているところがある。1月の献立は去年、休校で無くなったメニューでおいしそうなものが沢山あり親が見てもすごいと思った。その中でも最後にシシャモが入っていたり、バランスよく献立を考えていただき感謝している。

【委員】 新型コロナウイルス感染症の対応は給食センターの方々はとても大変だったと思う。小中学生の子どもがいるので親としても休校中は大変だった。値段も安く栄養のバランスが良くておいしい給食をあらためてありがたいものだと感じた。委員になり、異物混入の報告について知ることができたが、毎日とても安全に気を使って給食を作っていたことを知った。子どもにも見せて給食はおいしく残さず食べてと伝えたい。子ども同士の会話から「明日の給食はカレー」などという話が聞こえてきた。給食が学校に行く楽しみの1つになっているんだなあと感じた。

【委員】 中学生と高校生の子どもがいるが2ヶ月のステイホームではあらためて給食のありがたさを感じた。近隣の八王子市や町田市では中学校は弁当なので、多摩市は給食があつてよいと言われることもあった。フードバンクへの寄付もよい取り組みだったと思う。小さなことから努力されていることに感謝の気持ちでいっぱい。予算書のところで、資料1の過年度予算額が24.23%に上がっているの、電話等で徴収する努力をされている結果なのだと感じた。今年度は委員会の時間を短くすることから異物混入の報告も最小限になっているが、以前は残菜の量なども報告があり、どうしたら減らしていけるかといった話し合いもあった。今後はそのあたりの話もできると良いと思う。

【委員】 去年は牛乳をパックからビンへということで、今まで学校給食の牛乳についてこんなに深く考えたり話し合うことはなかったが、委員となりそのような機会をいただけてとても勉強になった。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、献立を作る上で、複数のメニューを出すことは大変だったと思うが、3品を作っただけなのが素晴らしいとあらためて感じた。異物混入もこんなに細かく丁寧に取り上げて対策していただき、給食は本当に安全に工夫して作っただけだと感謝の気持ちでいっぱいです。

【委員】 6月から学校が再開し、午前と午後に分かれの分散登校であった。6月8日から簡易給食が始まったがその日のメニューの揚げパンが温かかったことが今でも忘れられない。長い教員生活の中で初めてのことでありとても感動した。この時は11:00頃に食べたが、給食センターでは早い時間から準備して各学校に配送してくれているのだと感じた。1年生は初めての学校給食であり楽しみにしていたと思うが、前を向いて静かに食べていた。本当だったら楽しく食べさせてあげたかったと思う反面、教育委員会や

給食センターの努力により、こうしてみんなで給食を食べることができたことに感謝している。他市に比べ、通常給食に戻るのも早かったと思う。

【委員】 皆さまからのご意見、とてもありがたく受け止めている。いただいたご意見を給食センターで働いているスタッフとも共有したい。一方で全く逆のご意見をいただくこともある。今日いただいたご意見を糧に精進し、一人でも多くの児童・生徒あるいは保護者においしいと言ってもらえるように取り組んでいきたい。また、10年以内には給食センターの建替え事業が始まる。建替えにあたっては、災害時に大人に対しても給食を提供できるようなコンセプトを持ちながら進めていきたいとこれから検討を始めるところである。

【会長】 他に何かありますか。

【事務局】 本日の第2回運営委員会の要点会議録について、来年度は委員改選となり、皆様にお集まりいただきご確認していただくことができないため、郵送にてご確認いただきたいと考えているがいかがか。 <<ご意見なし>>

【委員】 本日の議題はすべて終了となる。これをもって第2回学校給食センター運営委員会を終了する。